

海外大学進学準備スケジュール

～合格後から渡航・進学までの完全準備ガイド～

海外大学に合格すると、大きな達成感と同時に、「ここから渡航までにどんな準備をすればいいのだろうか」と不安を感じられる方も少なくありません。しかし、合格後の行動が、留学生活の充実度を大きく左右するため、どのように過ごすかは非常に大切になります。

そこで、この記事では、海外大学に合格してから出発、そして現地到着後までの一般的な準備スケジュールを時系列で整理しました。安心して渡航ができるよう、チェックリストとして参考にしてください。

【全体スケジュールのイメージ】

海外進学の準備は、大きく以下の4段階に分かれます。

- ・合格直後～3か月以内
- ・合格後3か月～半年以内
- ・出発1か月前～直前
- ・現地到着後

それぞれの時期に「何を」「どの順番で」進めれば良いのかを詳しく見ていきましょう。

■合格直後～3か月以内にやることリスト

この時期は、進学準備の中で最も重要な期間です。進学先の決定、入学手続き、英語力強化、奨学金申請など、多くの作業が集中します。

1. オファーレター（合格通知）の内容確認

まずは、大学から届いたオファーレター（合格通知）の内容を細かく確認しましょう。

チェックすべきポイント：

- ・入学条件
- ・学費
- ・入学時期
- ・Conditional Offer（条件付き合格）かどうか
- ・デポジット（入学の意思表示として支払う費用）の金額と支払期限

条件付き合格の場合は、指定された条件を期限までに満たさないと、入学が取り消される可能性があります。

2. Conditional Offer（条件付き合格）の場合の対応

条件付き合格の場合、条件によって以下の対応が必要になります。

- ・英語資格試験のスコアを伸ばすための学習開始（IELTS / TOEFL / Duolingo など）
- ・大学付属の語学学校への進学を検討・決定
- ・高校の最終成績の提出

※大学によっても必要な対応は異なります。

「まだ時間がある」「合格が確実だ」と過信せず、合格直後から英語学習を本格化させるなどして、卒業までに成績を維持することが重要です。

3. 進学先大学の最終決定と辞退連絡

複数大学から合格をもらっている場合、以下の対応を行います。辞退連絡は、マナーとして必ず行いましょう。

- ・進学先を1校に決定
- ・それ以外の大学へ辞退連絡

4. デポジット（入学金）の支払い

入学の意思表示として、デポジット（入学金）の支払いが必要な場合があります。以下を必ず確認し、期日までに手続きを完了させましょう。

- ・支払期限
- ・返金条件

5. 滞在先（寮・ホームステイ等）の決定

住居の確保は早めが鉄則です。

主な選択肢：

- ・大学寮
- ・ホームステイ
- ・民間アパート

留学初期は、文化適応や英語力・実践コミュニケーション力向上の観点から、大学寮またはホームステイがおすすめです。必要に応じて、滞在先のデポジットも支払います。

6. 大学からの連絡確認

合格後は、以下を1日1回必ずチェックしましょう。重要な書類提出や手続きの案内が届くことがあります。

- ・メール
- ・大学ポータルサイト

7. 奨学金申請

各大学からの奨学金（合格後）

合格後、進学する大学から奨学金がもらえる場合があります。

成績などの条件がありすべての方が受け取れるわけではありませんので、各大学に確認が必要です。

【補足】その他の機関の奨学金（出願前～合格まで）

※奨学金は、種類によって申請の時期や条件が異なります。出願と同じタイミングで奨学金の申請が必要になることも少なくないため、早めに確認しましょう。

- ・財団法人（重田教育財団、笹川奨学金、柳井正財団、公益財団法人江副記念リクルート財団など）
- ・独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）

- ・留学先大学

奨学金は併願可能なものが多いため、条件に合うものにはすべて挑戦するのがおすすめです。

8. (出発まで3か月以内の場合) ビザ申請準備

出発まで3か月を切っている場合は、すぐにビザ申請準備を始めます。
国によって、以下の書類が必要になることがあります。

- ・無犯罪証明書
- ・保護者の残高証明書 (英文)
- ・健康診断書
- ・海外旅行保険証書 (英文)

9. パスポート申請・更新

以下の場合、速やかに申請・更新を行いましょう。

- ・パスポートを取得していない
- ・パスポートの残存期間が留学開始から1年未満

■合格から3か月後～半年以内にやることリスト

この期間は、ビザ・航空券・資金準備を中心に進める時期です。

1. 大学からの連絡確認

書類提出や追加情報の連絡が来るため、継続的にメールを確認しましょう。

2. 奨学金申請の継続

募集時期が異なるため、新しい奨学金情報を定期的に確認することが重要です。

3. ビザ申請

必要書類をそろえ、オンライン申請を行います。ビザの審査には数週間～数か月かかる場合もあり、早めの申請が安全です。

4. 海外旅行保険への加入

保険については、学校が指定する保険に加入、自分で選択した保険に加入、保険に加入するかを各自で判断(自由選択)の3タイプがあります。自由選択の場合でも、海外では医療費が高額になる傾向にあるため、加入を強く推奨します。

5. 航空券の予約

出発の約3か月前が最安値になる傾向があるため、早めの予約がおすすめです。

6. クレジットカード・海外対応可能な銀行口座の準備

現地での生活に備えて、以下を準備しておきましょう。

- ・クレジットカード
- ・海外ATM で引き出し可能な銀行口座

7. (持病がある場合) 医療体制の確認

現地で対応可能な病院を、日本の主治医と相談しながら探しておくで安心です。

■出発まで1か月を切ったらやることリスト

いよいよ出発直前です。忘れ物・手続き漏れ防止を意識しましょう。

1. 航空券の最終確認

この時点で航空券の予約は必須です。日程・空港・送迎サービスを確認しましょう。

2. 海外旅行保険の最終加入

未加入の場合は、必ずこの段階で改めて加入の検討をしましょう。

3. 荷造り・別送荷物準備

荷物は以下の3種類に分けて準備しましょう。

- ・手荷物（機内に持ち込むカバンなど）
- ・預け荷物（空港で預け入れるスーツケースなど）
- ・別送荷物（現地の生活に必要なものなど）

4. 移動ルートの確認

日本と現地について、それぞれの経路を事前に調べておくで安心です。

自宅 → 日本の空港

現地空港 → 大学寮・滞在先

5. 英文診断書の準備（持病のある方）

薬剤名や服用方法が記載された英文診断書を用意しましょう。

6. SIMカード・通信環境の準備

可能であれば、渡航前に現地で使用できるSIMカードを準備しておくで、到着直後も安心です。

■現地到着後にやることリスト

到着後は、新生活スタートです。最初の1～2週間が特に重要です。

1. オリエンテーション参加

新入生・留学生向けのオリエンテーションには必ず参加しましょう。大学生活の重要情報が得られます。

2. 滞在許可証・現地手続き

イギリスなどでは、滞在許可証（BRP）受け取りなどが必要になります。

3. 生活必需品・教科書購入

現地で必要な日用品、教科書などを購入します。

4. 学内施設・サポート窓口の確認

- ・留学生サポート
- ・医療センター
- ・図書館

などの場所や利用方法を確認しておきましょう。

5. 奨学金関連の手続き・報告

奨学金を受給している場合、留学中にも定期的に以下を求められることがあります。期日を守って対応しましょう。

- ・在学証明書提出
- ・留学報告書作成

まとめ

海外大学進学は、「合格＝ゴール」ではなく、合格後からが本当のスタートです。計画的に準備を進めることで、渡航時の不安が減り現地生活への適応もスムーズになります。ぜひ本記事をチェックリストとして活用し、最高の留学スタートを切ってください。